point 3
成長に寄り添い、学びを広げる教科書

幼児期と小学校の学びをつなぐ

子どもたちが幼児期に学んだことを十分に生かし、自信をもって学習活動に取り組めるよう１・２上の巻頭に特設ページを設けています。幼児期との接続題材では活動を通じて、入学したての子どもたちの好きなこと、考えていること、これまでに培ってきた力を知ることができ、１年生の担任が初めての先生でも安心して取り組むことができます。

幼児期との接続ページで

「知ってる！」「やったことある！」という自信から学習をスタート

1・2 上の巻頭に幼児期の活動を想起させる情景写真や作品を掲載しました。子どもたちの前向きな感情を引き出す「どんなこと すきだった？」との投げかけとともに、ページを見ながら対話することで、幼児期の学びを振り返り、子どもたちが安心して図画工作科の活動を始められるよう配慮しました。

1・2 上 p.2-3「どんな こと すき だった？」

幼児期との接続題材で

幼児期の学びを生かして始める五つの題材

学級経営にも配慮

初めての学校生活に期待と不安でいっぱいの子どもたちが、幼児期の経験を生かして楽しく取り組むことができる五つの題材を設定しました。全身で感触を味わう活動や、経験のある用具を使いながら手や指先の感覚を働かせる活動を取り入れています。また、めあてを一つに絞り指導のしやすさを考慮し、さらに友だちとの関わりを促し学級経営に配慮しています。

1・2 上 p.14-15「ちょきちょき かざり」

幼児期との接続題材
1・2 上 p.7-17

- 鑑賞：すきな かたちや いろ なあに
- 絵：どんどん かくのは たのしいな
- 立体：ねんどで ごちそう なに つくろう？
- 工作：ちょきちょき かざり
- 造形遊び：すなや つちと なかよし

６年間の学びを振り返り、中学校へつなげる

５・６下の巻末には、図画工作科での学びを振り返り、中学校での学びにつなげていくページを設けました。活動を通じて気付いたこと、心に残ったことをみんなで話し合いながら絵や言葉で表現し、６年間何を学んできたのかを一人ひとりが考えることができるようにしました。

5・6 下 p.66-67「図画工作での学びをふり返ってみよう」

point 3

成長に寄り添い、学びを広げる教科書

6年間の学びを支える

巻頭には一年の始まりに適した「オリエンテーションページ・題材」を、低学年・中学年の巻末には次の学びへ生かすための「振り返りページ」を設けています。高学年では、過程を丁寧に示すことで着実に経験を積み上げ、子どもたちの6年間の学びが未来へつながるよう構成を工夫しています。

巻頭に

授業びらきができるオリエンテーションページ

Index

1・2上 p.4-6「ずがこうさくが はじまるよ」
1・2下 p.5-7「もっと まるごとたのしもう／きせつを かんじて」
3・4上 p.5-7「ためす 見つける／かいて見つけるわたしのすきなもの」
3・4下 p.5-7「見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ／ためす 見つける」
5・6上 p.5-7「感じたことを伝え合う／わたしとひびき合う」
5・6下 p.5-7「わたしとひびき合う／絵の具スケッチ」

各学年の巻頭に、図画工作科の授業びらきに最適なメッセージと導入題材を掲載しています。子どもたちと「図画工作科で大切にしたいこと」を共有することができるメッセージは、4月の授業はもちろん、以降の授業の導入でも活用できます。導入題材では、めあてを一つに絞り、経験のある用具と使い慣れた材料を用いるなど活動や指導のしやすさを考慮しています。

5・6下 p.5-7「わたしとひびき合う／絵の具スケッチ」

低学年と中学年の終わりに

「振り返りページ」

題材ごとの振り返りに加えて、下巻の巻末に振り返りページを設け、何を学んできたのか子どもたちが考え、次の学びへ生かすことができるようにしました。

1・2下 p.54
「どんな こと したのかな」

Index

1・2下 p.54「どんな こと したのかな」
3・4下 p.54「どんなことをためしたかな どんなことを見つけたかな」

高学年では

過程がしっかり見える紙面構成

Index

5・6上 p.8-11「心のもよう」
5・6下 p.10-13「音の絵」

高学年では、活動の流れをより丁寧に示しています。子どもたちに思考の整理を促し、一人ひとりが表したいことやそれを表す方法を見付けられるようさまざまな手立てを掲載しています。

活動の流れを明確に

1. 思いのままにかいて、「気持ち」カードをコレクションしよう
2. 「気持ち」カードを使って、アートゲームをしよう
3. 気持ちがつまった「心」を、「気持ち」カードを材料にして表そう

4ページ構成の題材も！

5・6上 p.8-11「心のもよう」

思考の整理を促すツール

発想を広げるための考え方を示しました。

思い出そう 表し方のくふう

既習事項の振り返りを促します。

こう成を考えよう

構成を考えるための造形的な視点を示しました。

教科書美術館ミニ

高学年では、その題材で取り上げている表現や発想の方法と関連が深い美術作品を掲載しています。見方・考え方を深めるとともに、身の回りだけでなく、社会に目を向けられるよう促します。

point 3
成長に寄り添い、学びを広げる教科書

学びを、生活・社会・未来へ

図画工作科の学習が他教科や日常生活、家庭や地域とつながることでより深まっていきます。
教科書では、それぞれに関連付けて学びを深めることができるよう構成しています。

他教科とつなげる

他教科での学習を生かしたり、関連付けたりした題材や事例を掲載し、教科等横断的な視点でカリキュラム・マネジメントができるよう配慮しています。

「つながる学び」マーク

他教科等と関わりのある題材について、「つながる学び」マークを付けて示しています。

つながる学び
国語

国語科

国語科で出会う物語や詩などを基に発想を広げて表す題材を掲載しています。

1・2 上 p.40-41「おはなし だいすき」

外国語活動・外国語科

QR コンテンツでは、形や色を表す英語の発音を確認することができます。

3・4 下裏表紙「つながる図工 作品でつたえよう」

プログラミング教育

特設ページ「ICT でチャレンジ」では、プログラミングを活用した表し方を紹介しています。

5・6 上 p.54-55「ICT でチャレンジ」

Index

1・2 上 p.40-41「おはなし だいすき」
1・2 下 p.38-39「おはなしから 生まれたよ」
3・4 上 p.38-39「ことばから思いうかべて」
3・4 下 p.36-37「言葉から感じて」
5・6 上 p.32-33「言葉から思いを広げて」
5・6 下 p.34-35「言葉から想像を広げて」

▶「つながる学び」について詳しくは、p.44

家庭へつなげる

3・4 下 p.38-39「きって楽しい きっと使える」

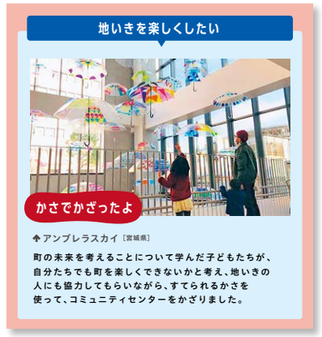
作品などを家庭で使う様子や保護者の方と一緒に見て楽しむ様子を掲載し、図画工作科の学びが生活にどのように生かされるのか伝えています。

図画工作科で大切にしていることや、どのような力を身に付けるのかについて、保護者の方と共有するメッセージを掲載しています。

1・2 下 p.2「もくじ」

地域へつなげる

学びを地域や社会と結び付け深めることができるように、地域の方と協働して活動している事例を掲載しています。



5・6 上 p.36-37
「広がる図工 どんなことをどんな方法で」

1・2 下裏表紙「つながるずこう つくった おもちゃで いっしょに あそぼう」

未来へつなげる

身近な社会や環境の問題などからテーマを考え、想像力を働かせて「あったらいいな」を表現する題材や、自分自身を見つめ 10 年後、20 年後の「わたし」を思いえがいてつくる題材を設定しています。社会科や総合的な学習の時間と関連付けて取り組むこともできます。

5・6 下 p.54-55「未来のわたし」

5・6 下 p.50-51「あったらいいなプロジェクト」